



10月12日(土)はどんぐり保育園の運動会です。お天気はどうでしょうか。園庭でも体育館でも子どもたちの日頃の姿がお見せできるよう準備を進めています。

やまぐみさん(3歳児)も話し合い

運動会の最後を飾るのは4,5歳児によるリレーです。昨年度のおたよりの中で、リレーの話し合いから育まれるものについてお話させていただきましたが、今年はその4,5歳児に負けじと話し合いをしていたのがやまぐみさんでした。3歳児にリレーはありませんが、異年齢グループごとに徒競走を行います。3歳児の徒競走は速く走ることが目的ではなく、一定の距離を最後まで走りきることを大切にしています。その中でどのような話し合いがされていたのかというと。

1番がいい!! ~それぞれの思いを大切に、自分たちで決めることの大切さ~

練習の時に“1番で走りたかった”と泣けてしまった子がいたようです。1番とはグループごとに走る順番の主張です。その子をきっかけに色々な子が“1番がいい!”と主張をしました。そこで担任は子どもたちに投げかけてみることにしました。

保 「今日は何んげさんが1番に走ったけど、たんぼぼさんも1番に走りたかったみたい。どうしようね。」

子① 「1ばん! つぎは1ばんがいい!」

子② 「わたしも1ばんがいい」

子③ 「ぼくは3ばんがいい」(1番ではなく3番を主張する子もいます)

子④ 「ぼくは1ばんで はしたからいいよ」(1番を経験したから譲ってくれています)

子⑤ 「わたしは まんなか はしりたい」(真ん中とは2番のことですね。真ん中も分かるようになる3歳児)

みんなの意見を聞きながら、

子⑥ 「じゃあ、たんぼぼを1ばんに すればいいんじゃない?」(みんな意見を聞きながら、提案してくれました)

最後の子⑥の意見により話し合いはまとまりグループの順番が決まりました。3歳児の子どもたちは自分たちなりに意見を出し合い、自分たちで決めることができました。走る順番も大人が決めてしまえば簡単です。でも、大人が決めたものではなく、自分たちで決めたからこそ、向かう気持ちが違います。このような話し合いをしている3歳児の子どもたちを嬉しく思いました。きっとこの話し合いが来年のリレーの話し合いにつながっていくことでしょう。

やはりこの場面から、子どもたちの思いをどう汲んでいくのかを改めて考えました。大人の都合で子どもの思いを摘んでしまわぬよう、子どもの声に耳を傾けながら、さらに集団の中にその声を返していき、子ども同士を繋げていく保育の大切さを保育園全体で再確認しながら、今後も進んでいきたいと思えます。

運動会当日の子どもたちの姿の中には、上記のような過程がいっぱい詰まっています。その過程とともに見ていただけたら嬉しいです。毎年お伝えしていますが、どんぐり保育園の運動会はBGMがありません。子どもたちの息づかいやつぶやき、保育士とのやりとり等々、直にそれを感じてほしいです。更には、カメラ・ビデオ撮影をご遠慮いただき、レンズ越しではなく、直に我が子とともに仲間と過ごす子どもたちの姿を見てほしいと思えます。たくさんの声援と拍手で子どもたちに保護者の方々の思いを届けてください。よろしくお願いいたします。